

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和7年2月1日

事業所名 児童発達支援センターバンビ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・意見	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	0	適切である	
	2	職員の配置数は適切である	9	0	子どもの発達に合わせて、必要な職員数を調整している。効率よく動ける様に職員全員で対応している	配置基準よりも多く職員を配置しています。子どもたちの様子に合わせて、人員の調整を行っています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9	0	特に生活場面で自分の持ち物の管理ができるように、置く場所をわかりやすくするようにしている。配慮されている	今後もわかりやすい物の配置をしていくようにしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9	0	日々の清掃消毒等環境整備を徹底している	療育後の清掃と片付けを徹底して行きます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9	1	定期的な振り返りをおこなっている。日々の業務が増えたことや、掃除、職員不足により、振り返りを行なっていないが丁寧に分析が職員同士出来ていると言えない。時間を作っていきたい。年2回、自分で立てた計画について評価を行っている	全体で話をする時間を取る事がなかなか難しいのですが、事前に業務調整をして話をする時間を作ってみたいです。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0	個別面談等で意向確認している	保護者の意向確認を行い、安心して利用ができるように努めています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	0	行なっていると知らない保護者もいる。口頭での周知があると良いかもしれない。情報開示している	毎年12月頃に事業所評価アンケートを実施し、ホームページで公開を行っています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	2		第三者評価は実施していません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	0	興味ある研修に参加させてもらっている。職員会議で研修報告を行うようにしているが、他に議題や報告が多く充分には出来ないことが課題。	職員が年に1回以上、研修を受けられるようにしています。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9	0	振り返りが振り返りの記入が、誰が見ても状況が分かるよう丁寧に残せるよう、気をつけたい。	利用初めには保護者と話をし、個別支援計画を立てています。懇談や聞き取りを丁寧にを行いニーズが把握できるようにしていきます。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	0	適応出来てきた際、ツールの使用についてのあり方無くし方も考えていきたい	利用児個々のツールではなく、子どもの様子を評価するためのツールとしてとらえて、活用を促していきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・意見	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9	0	今年度は特に地域や保育園幼稚園とも連携が増えたように思う。	ガイドラインについて職員で勉強会を行い、正しく理解して関われるようにしています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9	0	1人ひとりに合わせ支援していると思う。だが制作の際、個人差の大きいためどこまで求めるか	児童発達支援管理責任者と職員で連携をとり、支援計画にそった療育を行うようにしています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	0		毎月遊び会議を行い、チームでプログラムを立てられるようにしています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0	毎月遊び会議を行っている。チームの会議以外でも話をするようにしている。	療育雑誌などを活用し、いろいろな角度から遊びを取り入れられるようにしています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	9	0	主に集団で療育を行うが、内容に合わせて、個々に関わるようにしている。	個別療育は実施していないので、集団の中で、個々に対応しながら行っています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・意見	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	9	0	休みなど考慮し、事前に出来る時は早めに伝えている。	毎回日案を作って、打ち合わせを行っていますが、職員の勤務状況で伝達不十分な時があるので、丁寧な打ち合わせができるようにしていきます。
	18	8	1	他業務などによりその日にできない場合は、別日に記録をするようにしている。	振かえりが十分できていない日があるので、時間を取れるようにしていきます。
	19	9	0	日々記録はしているが、検証の時間は充分とは言えない。	日々の記録の時間を取れるようにしていきます。
	20	9	0		ケース検討を必ず全員行うように徹底していきます。
関係機関や保護者との連携	21	9	0		担当者会議へは最もふさわしいものが参加しています。
	22	9	0		保健師と定期的に連携会議を行うことや、療育体験時に出席をしてもらうなどしています。
	23	8	1	対象者の利用がないため、実施していない	看護師の配置がないため、医療的なケアが必要な幼児は利用していません。
	24	6	3	対象者がいないため実際していない。 医療的ケア児の利用者はいない。	看護師の配置がないため、医療的なケアが必要な幼児は利用していません。
	25	9	0		移行希望の方は見学や情報収集等を促し、移行先が決まってから、見学や連携などを行っています。
	26	9	0		就学先が決定後に、学校と見学や情報共有を行うようにしています。
	27	8	1		地域の事業所間で連携を行っています。
	28	9	0	定期的に地域交流として機会を設けている	毎日通所のよつばグループのみ、保育所・幼稚園と交流を行っています。
	29	8	1		療育発達支援部会に所属し、地域の会議に積極的に参加しています。
	30	9	0		療育後に保護者に説明する時間を設けています。
	31	7	1	市内の事業所と協力して行っている。 市のものに参加している。	三次市が行っているベアトレに参加しています。ベアトレとしてではなくても、保護者支援として、定期的に取り組んでいるケースがあります。
32	9	0		通路への掲示を行っています。	
33	9	0		丁寧な計画説明を心がけています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・意見	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0	勉強会(親子、よつば、全体)を行っている。全体での学習交流会は参加者が固定化しているためもっと誘うようにしたい。	全員年2回懇談を実施し、それ以外でも希望者には相談の時間を設けています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	2	保護者会はないが、保護者勉強会や参観日などで関わる機会を作っている。保護者会はないが、保護者同士の交流はできるように支援している 保護者会はないが、グループの保護者のみの勉強会や、行事のグッズ作り、環境整備等、保護者に参加してもらう機会を設定し、保護者同士の交流を促している。 交流会を開催 保護者会がない。グループ内でのつながりは増えている。	父母の会という形ではありませんが、保護者交流会や行事などで、保護者同士の繋がりが持てるようにしています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0		定期的におたよりを発行しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9	0		個人情報について同意書を
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0		
非常時等の対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	9	0		感染予防のためしばらく行っていなかったが、緩和されてきているので、実施していきたい。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	0		廊下に掲示をしています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0	毎月1回、避難訓練を行っている	定期的に訓練を実施しています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	9	0	フェイスシートに記入してもらってはいるが、年度途中の変化を保護者から聞いてないこともあるため確認していきたい。	利用前に確認しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	0		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	0		小さな怪我やインシデントも報告し合い、早めに対応ができるように検討しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0		定期的に研修会などに参加しています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9	0	現在対象者がいない	対象者がいないため身体拘束は行っていませんが、定期的に会議を開いている。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。